

平成24年度私立学校初任者研修 全国研修会（東日本）実施報告

本年度の初任者研修全国研修会（東日本）が、10月26日（金）から27日（土）の1泊2日の日程でクロスウェーブ船橋（船橋市）で開催され、48名の初任者教員が受講した。

初日は、日本航空客室乗務員の経歴を持つ（株）ミズ・インターナショナル代表、水元澄子氏を講師に迎えて、講義と実習を行った。テーマは「企業から学ぶービジネスマナー入門ー」で、名刺交換やお辞儀の仕方など、具体的な実習が行われた。

夕食後は、少人数のグループに分かれての討議が行われた。各学校での生徒指導上の悩みや、授業の進め方などを、熱心に議論していた。



研修2日目は、午前中に講演と実習が行われた。東洋大学経営企画本部事務室参与の川合正氏と、群馬パース大学講師の原芳典氏の両名による「学校教育相談とカウンセリング入門」で、生徒と教師の関わり、生徒同士の間関係、揺れ動く思春期の複雑な心理を、教師はどう理解し指導していくか、教師に課せられた非常に重い課題を、実践的な話題を含めて示唆された。

午後からは、小学校教員と中学・高校教員に分かれての講義が行われた。

中学・高校教員は、元向上学園理事長、清水秀樹氏の「明日から役立つ生徒指導」を受講した。問題行動を起こす生徒への対応は、いつの時代でも教師達を悩まし続ける。そんな教育現場での実践的な事例への対応例を示された。

小学校教員は、当研究所の大森隆實専任研究員の、「明日から役立つ授業経営」を受講した。小学生に対する具体的な授業の進め方や、生活指導のあり方について、さまざまな事例を示しての、講義と討議がなされた。

講義終了後の閉会式では、修了証が授与され2日間の研修を終了した。

